



平成28年1月22日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

伊勢湾の環境を守る海洋環境整備船「白龍」で学ぶ ～中学1年生7名が環境学習のため職場訪問～

平成28年1月19日(火)、名古屋市立南陽中学校の1年生7名が名古屋港湾事務所に職場訪問し、海洋環境整備船「白龍」や伊勢湾の環境について学習しました。生徒達は、停船した海洋環境整備船「白龍」に乗り込み、白龍乗組員より説明を受け、作業のデモンストレーションを見学。その後港湾業務艇「翔龍」にて名古屋港内を見学しました。

同校は、総合学習の一環として、「環境」をテーマとした生徒による訪問調査活動を行っています。今回の訪問は、当事務所の仕事について学ぶことにより、生徒1人1人が環境問題について自分なりの考えを持つことを目的に実施しました。

生徒達は、名古屋港湾事務所に集合し、停船した海洋環境整備船「白龍」に乗り込み、白龍乗組員より操舵室などの説明を受け、ゴミをすくい取るスキッパーや多関節クレーンの操作、流木の切断などを見学しました。生徒達は普段体験できないことに興味深く、真剣に、学習している様子でした。また、海洋環境整備船「白龍」に対する質問について、白龍乗組員による質疑応答を実施。生徒達からは、「船が油回収をした後、どこに捨てるのか」、「白龍のモニタリング調査では何がわかるのか」、「ゴミの処理で困っていることはあるか」などの質問がありました。その後、港湾業務艇「翔龍」に乗船し、名古屋港内のコンテナターミナルなどを見学しました。

生徒達は、白龍乗組員が目視で2km先の浮遊ゴミを見つけることが出来る事や、ゴミの中に冷蔵庫やタイヤなど、いろいろなごみがある事に驚いていました。

【海洋環境整備船「白龍」とは】

海洋環境整備船「白龍」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域(約1,800km²)の漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。

平成27年10月には、台風15号に伴う集中豪雨により伊勢湾内に大量流入した流木等漂流物を迅速かつ集中的に回収し、海上交通安全に貢献したとして第四管区海上保安本部長より感謝状を受けました。



■職場訪問の様子(別紙1)

■海洋環境整備船「白龍」の概要(別紙2)

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾
空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

■問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 板生(いたお) TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303

職場訪問の様子



海洋環境整備船「白龍」見学の様子①



多関節クレーンによる実演の様子②



海洋環境整備船「白龍」見学の様子②



白龍乗組員による質疑応答の様子



多関節クレーンによる実演の様子①



名古屋港見学の様子

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



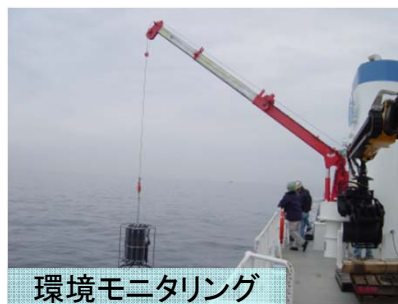
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】